

林業技術センター
普及班便り
(第68回)

いわての 林業人47

今月の普及班便りは、農林水産祭参加行事「平成30年度全国林業経営推奨行事」で、農林水産大臣賞を受賞した岩泉町の前川超（まえかわたかし）氏をご紹介します。



【受賞の概要】

前川氏は、岩泉町釜津田地区において、再造林から後継者育成、中学生の林業体験指導まで幅広く地域林業の活性化のために貢献したことが評価され、受賞に至りました。

【経営の目標】

前川氏は、①優良大径材の生産と

畜産との複合経営を目指す②計画的な広葉樹の伐採搬出による効率的な森林施業と、パルプ材生産を進める③乾しいたけと木炭の生産、並びにしいたけ用原木の販売による広葉樹の有効利用に取り組み。という3点を経営目標に、地域林業の発展に御尽力されました。

【経営概要等】

所有林の9割を占める広葉樹は、販売用として建築用材、しいたけ用原木、木炭用原木や薪の生産を行い、また、原木しいたけと木炭の生産も行っています。

素材生産後は、補助事業を導入して再造林し、植付けから間伐までの保育作業を行っています。今後、搬出間伐、皆伐作業を行いながら、優良材生産を目標に林業経営を行う予定です。

所有山林やホダ場作業を含め、年間150日を越える作業に従事しており、長男と木材生産（年間約300m³）としいたけ生産に取り組んでいます。

パルプ材は、地元業者に出荷し、しいたけ原木は、県森連を通じ放射性物質の影響で伐採できない地域の生産者に販売しており、搬出は、冬期間の積雪を利用し、極力傷をつけ

ないようにしています。

林業の複合経営として畜産も行っており、繁殖農家として親牛7頭、を飼養し、子3頭を産ませ、子牛をセリ市場に出荷するまで飼育しています。

【地域における指導者】

所有山林は、林内路網延長1万500mの林道・作業道が整備されており、将来の木材の搬出生産に向けた林業経営に取り組んでいます。

また、地域の中学生の第一次産業体験として、下刈り、しいたけ植菌及び仮伏せ、木炭の窯出し体験等、教育的利用のため、森林の総合的利用を実施しています。

自身は岩泉町森林組合の作業班長



中学校のしいたけ植菌体験指導

として作業や作業道の開設を推進するとともに、組合員としても地域の模範的な森林施業を行っています。

さらに、現在、沿岸北部のグリーンマイスター顧問として、後輩を指導するとともに、平成29年6月から、岩泉しいたけ生産推進協議会の会長として、地域のしいたけ生産の先導者としても活躍しています。

【後継者育成】

長男は、昨年末、勤めを辞め、父親といっしょに山仕事に精を出していますが、これまでも前川氏を手伝い、前職中にグリーンマイスターの資格を取得しました。

次男も現在サラリーマンですが、林業経営にも意欲的で、休日等には下刈り、広葉樹伐採、しいたけ植菌の手伝いなどをしており、この機会を捉えて前川氏は、将来の後継者として育成指導に力を入れています。

【おわりに】

地域の林業の促進、後継者育成など長年の地道なご功績が認められ、農林水産大臣賞の栄に輝かれました。おめでとうございます。

林業技術センター普及班

019(698)1337